



## ☆新型コロナウイルス感染症が国内外で流行しています☆

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

### 3つの「密」を避けましょう!

◆**マスクの着用**や**手洗いの徹底**などの**感染予防対策を行ってください**。

◆**①密閉空間、②密集場所、③密接場面**といった「**3つ密**」の条件を避け、**不要不急の外出を自粛し、感染を回避するとともに他人に感染させないような行動をお願いします**。

詳しい情報は、厚生労働省、農林水産省及び広島県のホームページから「**新型コロナウイルス感染症**」で検索してください。

### ➤ 新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策 ～ 畜産関係R2補正予算の概要 ～

国は令和2年4月10日、新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策として、令和2年度補正予算を公表しました。今年2月下旬頃から様々な情報が新聞記事や報道等で報じられており、皆さんも情報収集されていたと思います。

国内での新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年4月7日に一部区域に緊急事態宣言が出され、16日には区域を全国に拡大することが発表されました。全国的に不要不急の外出自粛傾向が強く、観光客も激減しており、高級食材の和牛肉は飲食店での需要が激減しています。このような経緯から、国は生産基盤を守るため緊急経済対策を策定しました。

肉用牛肥育経営には、経営体質強化の取り組みに対する支援や肥育牛や子牛の計画出荷の掛かり増し経費支援が示されています。また、和牛肉を販売促進する食肉卸の在庫保管料・販売の奨励金や和牛肉の学校給食の利用などに対する支援もあります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で和牛肉などの農産物消費は減少し、価格も低迷しています。また、外出自粛が浸透し、飲食店・小売店の休業拡大や休校の延長もみられ、これがいつまで続くのか不安が増えています。こういった対策の打ち出しのみならず、早く実行できる体制を整えていくことも重要です。

具体的な内容は今後明らかとなってきますが、情報収集を積極的に行いながら、活用できるものを選択していきましょう。

新型コロナウイルスの一日も早い終息を願っております。

## 畜産関係R2年度補正予算の概要

- 1 和牛肉等販売促進緊急対策事業** 【補正1,368億円の内数】
  - 学校給食での和牛肉利用に対する経費支援
  - 和牛肉を活用した新商品開発や地域おこしキャンペーンの支援
- 2 和牛肉保管在庫支援緊急対策事業** 【ALIC事業 500億円】
  - 和牛肉在庫の保管料及び販売促進支援
- 3 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業** 【ALIC事業 305億円】
  - 肥育生産支援  
肥育経営体の体質強化及び取組メニューによる掛かり増し経費支援（2万円/頭※）  
※枝肉価格下落率の上昇や取組メニュー数等により支援金額の引き上げ
  - 計画出荷支援  
生産者集団が計画的出荷を行う場合の掛かり増し経費支援
  - 牛マルキンの生産者負担金の納付猶予
  - 畜産特別資金の緊急貸付け
- 4 肉用子牛流通円滑化緊急対策事業** 【ALIC事業 10億円】
  - 計画出荷に係る掛かり増し経費の支援  
生産者団体の策定計画による肉用子牛出荷調整の掛かり増し経費支援
- 5 新型コロナウイルス感染症発生畜産農場等の経営** 【ALIC事業 8億円】
  - 代替要員等の派遣支援
  - 家畜の緊急避難に係る経費支援
  - 清浄化や感染拡大防止のため消毒経費支援

➤ **こだわりの神石牛を消費者に！ ～ 神石牛 NEW パンフレット完成 ～**

神石牛振興協議会は、令和2年4月、神石牛の販売促進と情報発信・PRのため、神石牛のパンフレットを刷新しました。

神石牛のイメージカラーでもある赤と黒をベースに、ゴールド色（金色）を加え高級感溢れるパンフレットとなっています。表紙には神石牛のロゴマークとともに、「地元が誇る黒毛和牛」と地域の自慢の品であり、美味しさ溢れる神石牛というイメージを伝えています。



配色にゴールド色を加え、高級感のあるパンフレットになっています！

「神石牛を届けたい」という販売・生産者の声も掲載されており、株式会社ヴィレッジホーム光末の宇田雄理さんは「消費者や肥育農家・販売業者すべての方に喜んでもらいたいとの思いで一丸となって神石牛を育てています」と神石牛生産に対する熱い思いを語られていました。また、株式会社入江ミートの入江さんは生産から販売まで一貫で行われており、「神石高原生まれの神石高原育ちの神石牛を一人でも多くの方に食べていただきたい」と手塩にかけた神石牛を皆さんの食卓に届けたいという思いを語られていました。

このパンフレットはJ.K.ミートショップ Shimohara や株式会社入江ミートをはじめ神石牛取扱店舗等で配布されています。取扱店舗であれば町内外問わず、配布予定ですので、お立ち寄りの際は探してみたいはいかがでしょうか？

神石牛振興協議会のホームページには、神石牛の食べられるお店や取扱店が掲載されています。詳しくは、「神石牛公式サイト」で検索してください。



生産者や販売者の顔が見える内容となっており、みなさんの牛づくりや販売への思いが沢山ちりばめられています。

【☆☆☆ 広島県内2か所で生産者応援フェア開催 ☆☆☆】

令和2年4月4日（土）～5日（日）の2日間、JA全農ひろしまが主催し、JAグループの直売所「とれたて元気市」（広島市安佐南区）と「とれたて元気市となりの農家店」（東広島市西条町）で新型コロナウイルスの感染拡大で販売が落ち込んでいる和牛肉、牛乳や花の県内生産者を応援するフェアが開催されました。

店舗入り口に特設コーナーを設置し、レジ前には、消費の落ち込みで経営に影響が出ている現状を伝えるチラシを掲げて販売していました。数量限定して販売し、県内産の和牛肉や牛乳が通常より手軽に購入できる機会となりました。

購入された方からは、「食べることが生産者さんを助けることにつながれば」とコメントされており、こういった消費者の方のお話は生産者の励みになりますね。

外出自粛モードがさらに増しており、なかなか消費促進という風潮ではありません。外食需要もかなりの落ち込みとなっています。

自宅での食事に、県産の和牛肉や牛乳などを取り入れてみてはいかがでしょうか。

「とれたて元気市」では県産の農産物を販売しています。「とれたて元気市」で検索してみてください。

【◆◆◆ 広島県内飲食店応援の取り組みが進んでいます！ ◆◆◆】

新型コロナウイルスの感染拡大で、外出自粛が広がる中、客足が遠のいて生活に苦む飲食店を応援する取り組みが県内のいろいろなところで始まっています。

和牛肉は、飲食店での取り扱いも多く、生産したものを食べてもらうには飲食店での取り扱いが通常ベースにもどることが望めます。飲食店をサポートしていくことも重要な取り組みですね。

今回、新聞やインターネット等に掲載されている県内飲食店応援の取組を2つご紹介します。

みなさん、可能な範囲で活用を検討してみたいはいかがでしょうか。

◆「ひろしま飲食店未来チケット」

令和2年4月6日（月）の中国新聞に掲載されていました。お店に将来食べに行くことを約束する「前払い商品券」のようなもので、お店が廃業しない限り使えるチケット。広島市内以外にも福山市、呉市の飲食店が参加されています。

◆「広島テイクアウト応援プロジェクト」

ひろしま子育て情報サイト pikabu が立ち上げたプロジェクト。広島市内でテイクアウト可能な飲食店の情報発信が行われています。

平成30年7月豪雨災害により被害を受けられたみなさまの復興を願っています。

広島和牛 NEWS が Web で閲覧可能になりました⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パンフレットをご覧いただけます。iPhoneの場合、標準カメラをカズすだけで読み取り可能です。



今回は、5月29日発行予定！